

1 臨床検査技師による簡易血糖測定装置の
2 運用と管理

3
4 ○ 北村登 鶴岡成一⁽¹⁾ 羽田真理子 麻生裕康
5 (千葉県がんセンター) (⁽¹⁾: 県立東金病院)

6
7 【はじめに】近年、グルコース脱水素酵素 (GDH) 法
8 による SMBG 機器が、マルトースなど糖の影響を受け
9 偽の高値を示すことが明らかになり、厚労省より緊急
10 安全情報が出された。これに対応するため、各病
11 棟で独自に設置していた多機種の SMBG 機を平成 17
12 年 9 月に回収し、POCT 機 (アントセンスⅢ; パイエ
13 ル社) を 13 台導入、すべての機器を検査技師が一括
14 管理している。今回は本機導入までの経緯および生
15 化学分析機とのデータ比較、導入後の精度管理を含
16 めた運用方法、ならびに今までに経験したトラブル
17 事例について報告する。

18 【導入経緯】SMBG 機の測定上の問題点が厚労省の緊
19 急安全情報で躍起された。これを受け、正確な血糖
20 測定のためアントセンスⅢの導入を医療局、看護局
21 および事務局に提案した。誤操作や整備不良によっ
22 て起こりうる医療事故を防止するため、精度および
23 機器の管理は検査技師が行う事とした。さらに、正
24 確な操作法習得の為に、事前に各病棟の看護師長を
25 対象に説明会を開催し、看護局にも協力を依頼した。

26 【運用と管理】導入後は核病棟からの問い合わせに
27 対応するため 2 名の専任技師を決めた。さらに 19
28 名の臨床検査技師が交代で、週 1 回病棟を訪問して、
29 機器毎にメンテナンスを行い、各種濃度のコントロ
30 ールによる精度管理を行っている。また、技師に対
31 してもメーカー技術者による講習会を開催し、技師
32 のスキルアップを目指している。現在、導入から 4
33 年が経過したが、当初多かった操作などの問い合わ
34 せや機器の故障件数も減少し、常に正確な血糖値を
35 提供している。

36 【まとめ】臨床検査技師の全員が、POCT 機の管理を
37 担当することにより、技師全員が病棟からの問い合
38 わせや故障時の対応が可能となり、臨床支援の点か
39 らも好評である。 連絡先: 043-264-5431